



熊川村長、嬭恋村職員、友の会代表らと

横浜市を表敬訪問

嬭恋村では昨年、富岡市の富岡製糸場が世界遺産に登録されたことを記念し、郷土資料館（黒岩秀二館長）で、企画展として横浜開港の功労者で生糸貿易の先駆者「中居屋重兵衛」を開催しました。今年はそれに因み、ゆかりの深い横浜市や同市中区と、なおいっそう友好を深めようと、1月22日、熊川栄村長、大久保守村議会議員及び嬭恋村職員代表が資料館友の会（小林勝太郎会長）、中居屋重兵衛顕彰会（山崎章一会長）の代表らと横浜市をしました。

横浜開港の功労者
中居屋重兵衛を縁に交流発展を約束す



横浜市の渡辺市長、三上中区長と記念写真におさまる熊川村長ら嬭恋村の訪問団

午前11時過ぎ、横浜市庁舎に到着した訪問団は、横浜市の渡辺巧教副市長、同市中区の三上章彦区長らの出迎えを受け、さっそく会議室で懇談。和やかな雰囲気の中、熊川村長から、安政6年、当時寒村にしか過ぎなかった横浜村に港が建設されたいきさつや、開港と同時に中居屋重兵衛が率先して進出、生糸貿易を牽引し、横浜発展に貢献できたことなどを説明。これに対して、三上中区長からは、「開港のまち・中区」には「もののはじめ」や横浜開港の歴史を伝える碑が点在しており、「よこはま 中区の歴史を碑（ひ）もとく絵地図」とタイトルを付けたマップを作製し、観光客に配布しているとの話とともに、そのマップには、本庁2丁目関内桜通り交差点角の日本生命ビル（東京都民銀行横浜支店）前に中居屋旧店舗跡の記念碑が立っていることが掲載されており、観光客の目を引いている旨の紹介がありました。

こうした中、熊川村長から、これまで横浜市、および同市中区との間で培ってきた友好の絆をさらに強くし、交流提携ができるようステップアップさせていきたいとの提案がなされ、渡辺副市長、三上区長からも賛同を得ることができました。

シルク博物館の見学も

一行は、昼食のあと横浜開港資料館の向かいにあるシルク博物館（中区山下町1丁目のシルクセンター内）を訪問。坂本英介館長自らの案内で館内を見学しました。同シルクセンターは、かつて中居屋とも取引があったジャーデン・マゼソン商会（英一番館）があったところ。坂本館長の解説で、蚕の飼育から機織り、糸繰りなどを見学。また、世界の民族衣装や日本の着物など美しいシルクの魅力を、その歴史とともに学習、内容の濃い、充実したひとときを過ごしました



=== 中居屋旧店舗跡を訪ねて ===



往時の賑わいを偲ぶ

市庁舎訪問前に婦恋村の一行は、中区本町2丁目関内桜通り交差点角の日本生命ビル（1階は東京都民銀行横浜支店）前に立つ中居屋重兵衛のメモリアを訪れました。同所の日本生命ビル側が中居屋旧店舗跡です。参加者は、メモリアをバックに記念写真を撮ったり、林立するビル群を望みながら、隆盛を極めていた頃の中居屋に思いを馳せ、多くの番頭や手代ら従業員が忙しく立ち働いていた往時の賑わいを偲んでいました。

~~~~~ ○ ○ ~~~~~

| 期日        | 講師                                 | 演題                                                                           |
|-----------|------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------|
| 1 2/7(土)  | 婦恋村長 熊川 栄 氏                        | 真田三代と婦恋村                                                                     |
| 2 2/14(土) | 環境省万座自然保護官事務所<br>自然保護官 黒江隆太 氏      | 国立公園と婦恋村の自然<br>～レンジャー目線の自然の見方～                                               |
| 3 2/21(土) | 独立行政法人種苗管理センター婦恋農場<br>農場長 佐藤満福 氏   | 馬鈴しよ原原種の歴史と現状                                                                |
| 4 2/28(土) | 婦恋郷土資料館ボランティアガイドの会<br>会長 山口岩美 氏    | ＝さあ行こう！美しい婦恋の山々＝<br>『天明の大飢饉』と浅間山大噴火                                          |
| 5 3/7(土)  | 婦恋村文化財調査委員 下谷通 氏                   | 婦恋村・村名とその時代                                                                  |
| 6 3/14(土) | 気象庁浅間山火山防災連絡事務所<br>所長 大塚仁大 氏       | 浅間山の監視と防災                                                                    |
| 7 3/21(土) | 一般社団法人 婦恋軽井沢自然倶楽部<br>会長 大島義夫 氏     | ＝さあ行こう！美しい婦恋の山々＝<br>「地図の読み方と簡単なコンパスの使い方」<br>持参品：筆記用具、30cm定規、<br>シルバコンパス、消しゴム |
| 8 3/28(土) | 特定非営利活動法人 日本チョウ類保全<br>協会 理事 松村行栄 氏 | チョウの宝庫・婦恋村ー多様性と保全ー                                                           |

※ 会場は婦恋郷土資料館視聴覚室で開始時刻は全講座午後1時30分です。  
 ※ 受講料は無料です。当日直接会場へお越し下さい。  
 ※ お問い合わせ先 婦恋郷土資料館 電話・FAX 0279-97-3405

## 熊川栄村長

### 真田三代と婦恋村を語る

婦恋郷土資料館では、婦恋村の魅力や可能性をもっと広く多くの人に知ってもらおうと、歴史、文化、産業、自然などをテーマにした講座を開催することになりました。そして第一回が2月7日、午後1時半から資料館2階の視聴覚室で行われ、自身の家の家紋が「六文銭」という真田氏の歴史に詳しい村長の熊川栄氏が「真田三代と婦恋村」について語りました。

ここでは、来年のNHK大河ドラマが「真田丸」に決まったことに触れ、原作者の火坂雅志氏との交流を紹介。信州の上田から婦恋村や西吾妻を通り沼田に至る地こそ真田三代興亡の主たる歴史舞台だと強調、郷土の歴史に今一度目を向けてみようと呼びかけました。

平成  
26  
年度

婦恋学

講座始まる